

札幌市立日章中学校



図書館だより

NO.3 2025年 10月14日発行

学校司書 盛野昭司

★合唱コンクールにむけて★

学校祭では各学級の発表、部活発表で素晴らしいものをみせてくれました。ありがとうございます。そして、今月28日には合唱コンクールがあります。ふたたび学級の団結力を発揮してください。合唱はどれだけの人が取り組んできた曲への「思い」があるかで完成度が決まってくると思います。ぜひ、みなさんの気持ちがこもった合唱をきかせてください。がんばってください。

さて、図書館には合唱コンクールの練習に役に立つ本があります。中でも次の3冊が注目です。

- ・「もっと歌がうまくなる。」⇒発声のしかたが参考になります。やさしく書かれています。
- ・「合唱上達のポイント50」⇒直前の仕上げの注意点は参考になります。
- ・「学校で楽しむみんなの合唱」⇒視線、姿勢など基本事項が載っています。

3冊とも図書館奥の「合唱」コーナーに置いています。参考にしてもらえたらうれしいです。

☆☆7、8、9月の図書館利用状況☆☆

【開館日数】 35日

【来館者数】 1862人(1日あたりの平均来館者数 約53人)

【貸出冊数・のべ人数】 1年生 261冊

2年生 109冊

3年生 45冊

【貸出が多かった分類】 9類(文学) 215冊 2類(歴史)67冊 7類(スポーツ・芸術)48冊 など

【貸出が多かった本】 オーダーメイド殺人クラブ (辻村 深月/著)

近畿地方のある場所について (背筋 /著)

レゾンデートルの祈り (樫 一志 / 著)

天久鷹央の推理カルテ (知念 実希人 / 著) 以上 貸出回数4回



10月のテーマ 「秋の夜長は本とともに」

「秋の日はつるべおとし。」つるべというのは、井戸で水をくむための綱をつけた桶のことを言います。日が暮れるのがつるべを落とすように早く感じる秋は、夜が長いということでしょう。虫の声を聞きながら読書を楽しむのにぴったりの季節です。10月27日から11月9日までは読書週間となっています。読書週間は「読書の力で平和な国家をつくろう」という考えで1947年に制定されたもので、それ以降日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。いま、電子メディアの発達で本離れが言われていますが、活字には活字のよさがあります。みなさんの生活の中に「本との付き合い方」もとりいれてみませんか。

新*着*図*書

新着図書がはいりました。10月17日(金)図書館にならびます。

詳しくは、掲示用の新着図書一覧をごらんください。

1類 僕の推しキャラたちの名言、名セリフ

2類 無一文「人力」世界一周の旅

3類 よけいなひと言を好かれるセリフに

4類 感動する地図帖

5類 家事ずかん750

6類

もしミツバチが消えてしまったら ほか

7類 三苦薫のサッカードリブル

8類

3か国語が同時にわかる

9類

月とアマリリス

中学生チューバーの心霊スポット

マンガ (貸し出しはできません。館内閲覧のみです。)

薬屋のひとりごと12～15

図書館のゆるゆる人生質問箱 ほか

ロバのスーコと旅をする ほか

6カ国転校生ナージャの発見 ほか

世界のかけら図鑑 ほか

ますます常識やぶりのアイデアおやつ

学習

高校受験 中学生の「合格ルール」 ほか

使える！イラストデジタルツール ほか

絵本

そういうゲーム

マスカレードライフ

スラムに水はながれない ほか

 今月の司書のおすすめ本  ぜひ読んでみてください！

『いのちの花』

人間に捨てられ、殺処分される犬や猫たち……。その骨を土に混ぜ、種を蒔いて花を咲かせる「命の花」プロジェクト。すばらしいの一言、そして…涙。

『それいけ！平安部』

「平安の心を学びたい」ということで、なんとなく集まった5人が1つのことにむかっていく。どんどん「やってみたい！」が膨らんで…。テンポがすごくいいです。

『元素楽章 擬人化でわかる元素の世界』

元素をキャラクター化。服装、アイテムは元素の特質があらわれていて覚えやすい！科学の豆知識もゲーム攻略本のように読めて楽しめます。

『パンダを飼ったらいくらかかる？』

妄想なら飼育もできる！がっちりいろいろな動物を飼ったらいくらかかるか、試算されています。動物への愛も感じられる一冊。あっという間に読み終わります。

次の新着図書は、冬休み特別貸出期間(12月19日頃～)にはいる予定です。どうぞお楽しみに。